

令和6年度 平城公民館事業実績

番号	事業名（指標）	次年度の 方向性	目標
1	こども茶道教室	維持・改善	⑬伝統文化
2	こども生花教室	縮小	⑬伝統文化
3	英会話教室	維持・改善	③学び
4	ハーモニカ教室	維持・改善	③学び
5	健康づくり教室「ヨガ」「体操」「お灸体験」「ピラティス」	維持・改善	⑨健康
6	スマホ講座	縮小	③学び
7	花いっぱい運動	縮小	②地域づくり ⑭ボランティア
8	ハンドメイド教室「絵手紙教室・絵手紙体験」「ハーバリウム」	維持・改善	③学び ⑦地域学校
9	人権・同和教育学習会	維持・改善	⑩共生社会
10	アーチェリー体験	維持・改善	⑦地域学校
11	平城貝塚再発見講座（町文化財活用サポーター協力）	維持・改善	⑦地域学校 ⑬伝統文化
12	とろりや講習会 R6年度中止	維持・改善	⑦地域学校 ⑬伝統文化
13	地域づくり出前講座	維持・改善	②地域づくり
14	グラウンドゴルフ・ミニバレーボール大会	維持・改善	②地域づくり⑦地域 学校⑭ボランティア
15	健康ウォーク「ミニ四国巡り」（御荘B&G海洋クラブ交流）	維持・改善	⑨健康⑬伝統文化 ⑭ボランティア
16	消火避難訓練・心肺蘇生講習	維持・改善	⑧地域防災
17	みんなの料理教室「おやこ食育」（町食生活改善推進協議会共催）	維持・改善	⑤家庭⑦地域学校 ⑯ネットワーク
18	お菓子づくり体験（県南予地方局愛南生活研究協議会共催）	維持・改善	⑦地域学校 ⑯ネットワーク
19	平城公民館成果発表交流会	維持・改善	②地域づくり ④コーディネート
20	御荘中スパルタスロンお接待（町御荘日赤奉仕団共催）	維持・改善	⑦地域学校 ⑯ネットワーク
21	御荘ミニ四国遍路マップ制作事業（南宇和高校総合探求遍路班共催）	中止	⑦地域学校⑫情報 ⑬伝統文化

【集計表】

維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
17	0	3	0	1

【目標別集計表】

①人づくり	②地域づくり	③学び	④コーディネート	⑤家庭		
0	4	4	1	1		
⑥青少年・若年層	⑦地域学校	⑧地域防災	⑨健康	⑩共生社会		
0	9	1	2	1		
⑪地域課題	⑫情報	⑬伝統・文化	⑭ボランティア	⑮資金調達	⑯ネットワーク	合計
0	1	6	3	0	3	36

1	事業名	こども茶道教室				
2	開始年度					
3	対象	小・中学生				
4	開催時期	4月～3月 毎月2回（土曜日）開催 10:00～11:30				
5	事業の目的（意図）	伝統文化の継承と体験を目的に、楽しい雰囲気の中で礼儀作法、お茶の心を学びます。				
6	事業内容（手段）	受講料250円（1回） 講師 竹平照子さん 講師の指導を受け、礼儀作法やお点前を学びます。年20回開催します。愛南町文化祭「お茶会」に小中学生が協力します。				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	62千円	101千円	79千円	76千円
		募集定員	10人	15人	15人	15人
		応募人数	10人	11人	11人	10人
		参加人数（延べ）	73人	70人	93人	71人
	特記事項		R3年度-11回、R4年度-19回、R5年度-21回、R6年度-19回予定。 令和2年度から保護者を招待する「お茶会」を行い好評でしたが、令和5年度から愛南町文化祭の「お茶会」が復活したため中止しました。			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	町文化祭「お茶会」は、小中学生が一般客へ抹茶と和菓子運びます。裏で作業する大人の手が年々減り、保護者・館長・公民館主事・南高茶道部の生徒も手伝いました。裏方の仕事は毎年大変です。				
9	改善案	お茶会は、普段お稽古に励む小中学生が一般客に認めてもらう良い機会です。裏で作業する人数を増やして作業時間を短縮できないか講師と協議します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長（館主）の意見

茶道を通して、その伝統的な所作を学ぶことで、おもてなしの精神を育むだけでなく、すべてのものを大切に心する心の醸成が図られ、教育効果も高いと考えますので、継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	こども生花教室				
2	開始年度					
3	対象	小・中学生				
4	開催時期	4月～3月 毎月1回（土曜日）開催 13:30～14:40				
5	事業の目的（意図）	伝統文化の継承と体験を目的に、季節の花を使い、生花を基礎から楽しく学びます。				
6	事業内容（手段）	受講料400円（1回）※正月用1,000円、押し花等500円など、個人負担の増額あり。講師 清家初美さん 講師の指導を受け、花の生け方の基礎を学びます。年12回開催。				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	93千円	105千円	135千円	120千円
		募集定員	10人	10人	10人	10人
		応募人数	5人	4人	8人	8人
		参加人数（延べ）	67人	39人	91人	61
	特記事項		R3年度-18回、R4年度-18回、R5年度-20回、R6年度-11回予定。 実施回数を月2回から1回に、受講料を350円から400円に変更しました。			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	花材の価格が上がり、年20回の予算不足にならないか不安であったため、講師と相談して月1回の開催に変更しました。				
9	改善案	事前に出欠を確認して、参加者が1名のときは中止または日程変更しました。次年度も講師の希望により月1回開催します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
				○		

※館長（館主）の意見

生花を通して、生ける花の種類や生け方等を学ぶことで、生き物を大切にする心の醸成が図られ、教育効果も高いと考えますので、継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	英会話教室				
2	開始年度					
3	対象	一般（高校生以上）				
4	開催時期	4月～3月 毎月2回（10月から月1回）夜間開催				
5	事業の目的（意図）	英語指導助手の先生を講師に、本物の英語に触れながら初歩的な日常英会話を楽しく学ぶ。				
6	事業内容（手段）	受講料 無料 講師 ダスティン先生（4月～8月）、カルメン先生（10月～3月）ALTの指導により日常英会話を学んでいます。				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	45千円	51千円	62千円	64千円
		募集定員	10人	10人	10人	10人
		実施回数	15回	16回	19回	14回
		参加人数（延べ）	116人	126人	116人	63人
	特記事項		R3年度-岡澤エディさん、R4年度-スティーブン先生と岡澤エディさん、R5-岡澤エディさんとダスティン先生、R6-ダスティン先生とカルメン先生			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	愛南町の雇用するALTは他の公民館で指導しているため、平城公民館の指導は難しい状況です。参加者が減っています。				
9	改善案	派遣会社(インタラック西日本)が雇用するカルメン先生は、委託契約により10月から平城公民館の講師をして、毎年契約更新することと講師の問題は解決しました。アンケート調査して実施内容を検討します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

新しい講師が就任する際、講師の都合や、事業の方向性等の確認などの意思疎通が難しい部分もありますが、受講者の協力により順調に開催されています。引き続きPRに努めて参加者の拡大を図って行きます。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	ハーモニカ教室				
2	開始年度					
3	対象	一般				
4	開催時期	毎月1回（第2水曜日）13:00～15:00				
5	事業の目的（意図）	人の息づかいがそのまま音になる、誰もが一度は吹いたことがあるハーモニカを楽しく演奏することを目的とします。				
6	事業内容（手段）	受講料 無料（ハーモニカなどは各自が持参） 講師 田中千鶴さん（愛南町）R4.5月～ 講師の指導のもと、ハーモニカで演奏します。年11回実施 県ハーモニカ協会が主催するコンサートに毎年1回参加します。				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	82千円	63千円	70千円	87千円
		実施回数	5回	10回	12回	11回
		応募人数	9人	9人	9人	9人
		参加人数（延べ）	33人	70人	91人	80人
	特記事項		町文化祭と県主催のハーモニカコンサート（研修）に参加します。 令和4年度からは、伊予市の講師から町内講師に交代しました。 受講生は、毎週1回定期的に自主活動しています。			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	同じメンバーで活動しています。途中で新規加入があっても、技術の差がついています。				
9	改善案	同じメンバーで事業継続することに疑問はありますが、今年度は中浦公民館の漁民祭に出演して、地域の方に喜んでもらうことができました。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長（館主）の意見

主な活動を自主活動へ移行し、事業の実態にあわせて公民館事業の回数を調整しております。特に問題なく実施しているため、この方法で継続します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	健康づくり教室「ヨガ」「体操」「お灸体験」「ピラティス」				
2	開始年度	令和2年度（令和3年度～お灸体験、ピラティス）				
3	対象	一般				
4	開催時期	4月～3月（ヨガ12回・ピラティス16回・お灸6回・体操1回）				
5	事業の目的（意図）	新型コロナウイルス禍のなか家にいる時間が増え、これまで以上に健康づくりへの関心は高まっています。誰でも家庭で簡単に実践できるよう体験して、ストレス解消と免疫力のアップを行い、地域住民の健康増進を図ります。ヨガ、体操、お灸、ピラティスを開催します。				
6	事業内容（手段）	ヨガ：腹式呼吸を行い、リラックスして自律神経のバランスを整える。1回300円／お灸：昔から民間治療法のお灸を体験し、血行促進や不調改善に役立てる。／ピラティス：胸式呼吸にあわせて動き、体幹を鍛えて姿勢の改善を目指す。1回600円／体操：正しい姿勢で歩くための筋肉体操。				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	151千円	258千円	274千円	383千円
		募集定員	ヨガ体操18人・お灸10人・ピラティス16人	ヨガ体操20人・お灸12人・ピラティス18人	ヨガ体操25人・お灸12人・ピラティス20人	ヨガ20人・お灸12人・ピラティス体操20人
		実施回数	16回	28回	30回	35回
		参加人数（延べ）	194人	313人	495人	599人
	特記事項	ヨガ講師：野田恵子さん（ヨガインストラクター）／体操講師：原田宣行さん（公認スポーツトレーナー）／お灸講師：寺阪嘉峰さん（福浦の鍼灸師）／ピラティス講師：吉良恭子さん（宿毛市のインストラクター）				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	駐車場と会場の広さにより募集定員は20名です。希望者が多いため会場を御荘文化センターで40名定員で開催しましたが、講師から火曜日開催の要望があり9月から会場を公民館にしました。				
9	改善案	ピラティスとヨガ教室の申込が定員オーバーの時は仮受付し、開催前日までにキャンセルがあればLINE通知して、仮受付者を受け入れます。申込者を断ることなく最大22名まで受け入れしました。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長（館主）の意見

参加者が多く人気の事業となっています。地域住民の健康増進を図るため、継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	スマホ講座				
2	開始年度	令和2年度				
3	対象	一般（概ね50歳以上）				
4	開催時期	5月～7月・1月～3月 夜間（年6回）				
5	事業の目的（意図）	私たちの生活に欠かすことのできないツールとなっているスマートフォンの操作知識を習熟することで、デジタル時代に対応できる地域内の人材育成を図るとともに、地域社会の生活スキルの向上を目的とします。				
6	事業内容（手段）	スマホをまだ十分に使いこなせていない方（概ね50歳以上）を対象としたスマホ活用講座を開催することで、スマホの素朴な疑問の解決、初歩的な使用方法や様々な機能の使い方をマスターします。				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円
		募集定員	各回 10人	各回 10人	各回 10人	各回 10人
		実施回数	6回	7回	7回	6回
		参加人数（延べ）	28人	35人	47人	39人
		特記事項	協力 愛媛CATV愛南局 令和7年度は、講師の都合により回数を減らして実施します。（第3回運営審議会で承認されました）			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	スマホに対する知識は人それぞれレベルが違い、参加者の興味や関心が不明な点も多く、テーマを決めることが難しいです。初歩的な内容を繰り返すことで、同じ高齢者の集まりになりました。				
9	改善案	高齢者等がデジタル社会から取り残されない学習を実施しましたが、次の段階へ進む必要があると感じました。次年度から内容を（インスタグラムや動画の編集など）変更できないか講師と相談します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
				○		

※館長（館主）の意見

スマホは生活する上で欠かすことができないツールとなっています。地域住民の情報化の向上のため、継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会の意見と改善案を踏まえ実施します。

1	事業名	花いっぱい運動				
2	開始年度					
3	対象	一般				
4	開催時期	毎年2回（6月～7月頃、11月～12月頃）				
5	事業の目的（意図）	地域のボランティア団体が環境美化活動として、県道等花壇の管理を行う。				
6	事業内容（手段）	花の引き上げと花植えを（年2回）行い、水やりや草引きは随時行う。馬瀬老人クラブ、平城商店街、特定非営利活動法人こころ、愛南町シルバー人材センター（4団体）				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	618千円	662千円	710千円	617千円
		募集定員	－人	－人	－人	－人
		活動団体数	6団体	5団体	5団体	4団体
		参加人数（延べ）	169人	159人	181人	139人
	特記事項		R3-節崎老人クラブ活動中止し、こころが活動範囲を広げる。R4-和ロググループ活動中止し、シルバー人材センターに交代。令和5年11月から御荘中園芸部は花の引上げ作業に協力。R6-深泥青年部活動中止。			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	馬瀬老人クラブは高齢化や会員減少等の理由で事業継続が困難となり、次年度から活動を中止します。				
9	改善案	馬瀬老人クラブの活動中止により事業を縮小します。御荘中学校園芸部顧問と日程調整しながら、園芸部の生徒を中心に、次年度以降も花の引上げ作業に協力をお願いします。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
				○		

※館長（館主）の意見

高齢化等に伴い、これまで活動していたグループの実施が困難となる場合に、新しいグループに働きかけを行うなど、事前に状況を把握しながら対応するよう努めます。また、中学生に協力を呼び掛けるなど、中学校との連携を図りながら改善案のとおり取り組んでいきます。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	ハンドメイド教室「絵手紙教室・絵手紙体験」「ハーバリウム」				
2	開始年度	令和3年度				
3	対象	一般				
4	開催時期	体験10月12日（土）・3月8日（土）／ 7月7日（日）				
5	事業の目的（意図）	絵手紙：自分が感じたままに自由に描き、思いがっばいにつまった絵手紙を送って、ハガキを通じて相手と心のやりとりを行います。／ハーバリウム：手作りの楽しさを体験し、自分で作ったものを大切にする事の喜びや大切な人へ贈る喜びを学びます。				
6	事業内容（手段）	絵手紙の技法や感覚を学びます。令和3年度から自主活動し、年2回会員を対象に開催し、初心者対象の体験学習を合わせて1回行います。／ピンセットを使って、ビンの中に花や植物(フリザーブドフラワー)など詰め、専用オイルを流し込んでフタをして完成させます。 参加料：1人500円				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	22千円	43千円	33千円	59千円
		募集定員	20人	15人	体験15人、20人	体験10人・20人
		応募人数	20人	12人	体験 0人、20人	体験2人・21人
		参加人数（延べ）	40人	43人	40人	55人
	特記事項	講師：山中慶子さん（宇和島市）。体験教室は、さくら会の代表者も一緒に指導します。ハーバリウム教室の事業シートは、令和6年度から一緒にまとめました。R5-絵手紙体験2回、R6-体験1回。				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	絵手紙体験は、絵手紙教室さくら会の協力があれば継続できます。ハーバリウム教室は、毎年人気の高い事業です。講師1名と助手2名の指導に対して、20人以上の受け入れは難しいです。				
9	改善案	絵手紙体験は、さくら会代表者に相談して可能なら開催します。ハーバリウム教室は、開催時期や季節の植物などを変更し、毎年参加しても楽しめるよう工夫しています。定員を超えた場合は、赤水公民館と中浦公民館の開催日程を紹介します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

次年度に向けての方針のとおり、継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	人権・同和教育学習会				
2	開始年度	令和2年度				
3	対象	一般				
4	開催時期	12月5日(木)・2月10日(月)・2月15日(土)				
5	事業の目的(意図)	地域住民の人権意識の向上のため、人権・同和教育に関する啓発を行います。				
6	事業内容(手段)	人権作品集「えがお」を朗読することで、小中高生の作品に関心をもて人権意識を高める。各グループの活動終了時間に、「えがお」の小中学生の作文や高校生の標語を朗読して、聞いてもらいました。冊子の必要な方へ配布しました。				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	一 千円	一 千円	一 千円	一 千円
		募集定員	人	人	人	人
		実施回数	3回	2回	3回	3回
		参加人数(延べ)	27人	14人	35人	31人
	特記事項		R3年度-ハーモニカ教室はまゆう、深泥青年部、英会話教室、R4年度-檳榔子俳句会、オカリナクローバー、R5-おい元気かい、英会話教室、長崎サロン、R6-よりあい喫茶やたの、長崎サロン、深泥青年部			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	毎年発行する「えがお」の最新号を教材に、平日に平城公民館を利用する4団体を対象に実施して一巡したため、令和5年度から出前講座に併せて実施しました。出前講座も同じ団体の繰り返しになっています。				
9	改善案	出前講座は同じグループが毎年繰り返されるため、次年度からは、成果発表交流会や再び公民館利用団体の実施を検討します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

公民館における人権・同和教育の啓発活動は、地域住民の人権意識の向上のためにも重要な取組と位置付けていることから、継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	アーチェリー体験教室				
2	開始年度	令和3年度				
3	対象	小学4年生から6年生・中高生・一般				
4	開催時期	9月22日(日)9:30~11:30(御荘文化センター9時集合)				
5	事業の目的(意図)	弓で矢を放ち、的の中心により多くの矢を集めるスポーツのアーチェリーを体験し、初心者でも楽しみながら集中力と忍耐力を養い、参加者の親睦を図ることを目的に実施する。				
6	事業内容(手段)	旧西海中学校体育館で愛南アーチェリークラブの協力により、代表の埜下正さんの指導のもとアーチェリーを体験します。 1時間程度練習した後、記録会を行い、成績上位の方へ賞品を渡します。				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	11千円	11千円	14千円	14千円
		募集定員	20人	20人	20人	20人
		応募人数	20人	9人	15人	11人
		参加人数(延べ)	20人	9人	15人	14人
	特記事項		夏休み中のスポーツイベント(キャニオニング)の代替えとして、出前ボルダリング体験教室とアーチェリー体験を行います。令和6年度からボルダリング体験は、他の公民館で実施します。			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	愛南アーチェリークラブの協力があれば、事業の継続ができます。				
9	改善案	愛南アーチェリークラブの協力は承諾をいただいています。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

普段行う機会が少ないアーチェリーを体験することで、新しいスポーツの普及と地域住民の体力増進を図るため、継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	平城貝塚再発見講座				
2	開始年度	令和3年度				
3	対象	小学1年生以上（高齢者を含む）				
4	開催時期	9月8日（日）10:00～11:30・1月19日（日）10:00～11:50				
5	事業の目的（意図）	地域の歴史遺産である平城貝塚のことであり、古代人が使った道具に触れることで古代の生活を想像し、また体験学習を通して仲間と共に楽しく歴史を学ぶことを目的とします。				
6	事業内容（手段）	9/8：まが玉づくりと展示室の見学など実施します。講師は、吉田貴子さん。 1/19：現地視察と展示室見学、土器クッキー作りを実施します。講師は、多田仁さんと関根麻里さん。				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	12千円	14千円	19千円	36千円
		募集定員	各10人	16人	15人	15人
		応募人数	51人	10人	16人	19人・14人
		参加人数（延べ）	47人	8人	16人	33人
	特記事項		講師：愛南町文化祭活用サポーターの吉田貴子さんと関根麻里さん、文化財保護審議会委員の多田仁さん。愛媛CATV愛南局による撮影。			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	事業の継続には、専門分野の方の協力が必要です。愛南町文化財活用サポーターを中心に、文化財保護審議会委員や生涯学習課と連携して講師に直接交渉して実施しましたが、事業内容や日程調整に苦慮します。				
9	改善案	生涯学習課と連携し、文化財活用サポーターと話し合いの場がもてるよう調整します。事業内容や日程を決めるため、年1～2回の打合せを頼んでみます。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長（館主）の意見

平城公民館に平城貝塚出土品展示室があることや平城貝塚が国の史跡に指定されたことなどから、平城貝塚を地域の皆さんに広く知ってもらえるよう、生涯学習課と連携し、事業内容を考えながら継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	とろりや講習会				
2	開始年度					
3	対象	一般・中学生				
4	開催時期	10月中（4回開催）				
5	事業の目的（意図）	秋祭りで披露するとろりやを学ぶことで、伝統行事の継承を図る。				
6	事業内容（手段）	地域の指導者（2名）によるとろりやの講習 協力 平城五常会				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円
		募集定員	中止	中止	中止	中止
		応募人数	中止	中止	中止	中止
		参加人数（延べ）	中止	中止	中止	中止
	特記事項		参加者の募集は、五常会から呼びかける。 令和2年度から中止。令和元年度は延べ38人参加。			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	6年間実施していません。 秋祭りの練り唄を経験した子どもたちがいません。				
9	改善案	地域の伝統行事に係る講習会であるため、行政協力員の意向にそって実施します。事業の方向性について、五常会の区長会で協議してもらえることを望みます。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長（館主）の意見

6年間実施していないことから、経験者や指導者の減少など厳しい状況にありますが、地域の伝統文化の継承を図るため、継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	地域づくり出前講座				
2	開始年度	令和2年度				
3	対象	一般				
4	開催時期	12月5日(木)・2月10日(月)・2月15日(土)				
5	事業の目的(意図)	地域に根ざした公民館活動の充実を図り、身近な地域での学習活動を応援するため、平城公民館から離れた地域に対して、健康づくりなど地域の実情や要望に応じた学習を提供し、地域人材の育成を目指します。				
6	事業内容(手段)	5人以上のグループに対して、公民館から講師等を派遣します。実施場所は周辺の集会所等を活用し、材料費等は参加者の負担とします。椅子ヨガを八幡野集会所、ミュージックケアを長崎集会所、フラワーアレンジメントを深泥集会所で行います。				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	7千円	32千円	25千円	19千円
		募集定員	1人	1人	1人	1人
		実施回数(延べ)	1回	5回	4回	3回
		参加人数(延べ)	6人	61人	52人	29人
	特記事項		対象地区は、平山・長洲・長崎・貝塚・八幡野・和口・節崎・馬瀬・深泥(10地区) R3-チーム馬瀬、R4-長崎サロン・おいしい元気かい・よりあい喫茶やたの・深泥青年部、R5-前年度と同じ、R6-長崎サロン・よりあい喫茶やたの・深泥青年部			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	何団体から要望が出るか予想できないため、予算要求が難しいです。希望する団体が減りました。				
9	改善案	ケーブルテレビ放送などで周知して、令和4年度から要望が増えましたが、同じ団体の撮影は拒否されます。周知方法を工夫します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

公民館にとって、地域人材の掘り起こしは持続的な公民館活動の観点から重要です。これまであまり公民館事業に参加できなかった地域の皆さんを対象に、こちらから出向いて事業を実施することで生涯学習・文化活動の場を提供し、公民館活動の活性化を図るため、継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	グラウンドゴルフ・ミニバレーボール大会				
2	開始年度					
3	対象	平城公民館区住民				
4	開催時期	12月15日(日) 8:30~16:50				
5	事業の目的(意図)	平城公民館区の住民の健康と体力保持増進並びに親睦を図ることを目的とし、グラウンドゴルフ・ミニバレーボール大会を開催する。				
6	事業内容(手段)	午前：グラウンドゴルフ大会(南レクサンパール運動場) 午後：ミニバレーボール大会(御荘B&G海洋センター) 参加資格：平城公民館区内に住所がある者。ミニバレーボールの部は、小中学・高校生は除く。グラウンドゴルフの部は、御荘中と南高生を含める。				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	－ 千円	19千円	48千円	65千円
		募集定員	中止	－ 人	－ 人	－ 人
		応募人数	中止	40人	－ 人	－ 人
		参加人数(延べ)	中止	40人	140人	154人
	特記事項		グラウンドゴルフ大会は、中高生のボランティアが参加しました。令和元年度は75千円で延べ190人参加。令和4年度はグラウンドゴルフ大会のみ開催。			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	グラウンドゴルフ大会は、当日のやむを得ない欠席により、記録者の交代やグループ変更などの調整に時間を要し、受付や集計にも時間がかかりました。				
9	改善案	グラウンドゴルフ大会は、御荘中と南高の学校年開行事計画を確認して日程を決めます。学生ボランティアの協力は必要です。ミニバレーボール大会は、初めて総当たり戦を行い好評でした。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

改善案及び、打合せ会等で地区の意見を聞きながら、開催方法について検討・調整を行い実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	健康ウォーク「ミニ四国巡り」				
2	開始年度	(再開始) 令和2年度～				
3	対象	小学生から一般				
4	開催時期	3月8日(土) 9:00～15:00(ミニコース11:40頃まで)				
5	事業の目的(意図)	地域の皆さんの健康づくりと、地域巡りを行うことで緑あふれる平城地区を再発見し、自然と郷土文化の調和を広く知ってもらうことを目的に開催します。				
6	事業内容(手段)	観自在寺をスタートに、地域内に設置された八十八体のお地藏さんを巡りながら、地域の景観や自然を再発見していきます。今年度は学生ボランティアを募集しました。				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	7千円	26千円	21千円	45千円
		募集定員	15人	20人	20人	20人
		応募人数	17人	23人	27人	25人
		参加人数(延べ)	39人	49人	51人	43人
	特記事項		過去8年間事業を中止していました。 R2年度から御荘B&G海洋クラブ会員とシニアシークラブ会員が参加。 R4年度から御荘中と南校ボランティア部がボランティア協力。			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	令和4年度から貝塚集会所でお接待所を設けて、麦茶や飴などを中高生が配っています。中高生のボランティア協力がなくなれば、お接待所はできないと思います。				
9	改善案	中高生が参加しやすいように、御荘中学校と南宇和高校の年間行事を確認し、担当の教員等に聞いて日程を決めています。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

次年度に向けての方針のとおり、継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	消火避難訓練・心肺蘇生講習				
2	開始年度	令和2年度				
3	対象	公民館利用者				
4	開催時期	5月15日・12月10日				
5	事業の目的（意図）	公民館利用者の防火意識を高めるため、公民館利用者と職員が一緒に自助・共助を踏まえた訓練を行う。				
6	事業内容（手段）	消火訓練、避難訓練、心肺蘇生講習、ミニ講話など				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円
		募集定員	10人	10人	10人	2回・各10人
		応募人数	－ 人	－ 人	－ 人	－ 人
		参加人数（延べ）	12人	5人	8人	16人
	特記事項		協力 愛南町消防本部職員。R2-ハーモニカ教室はまゆう、R3-オカリナ・クローバー、R4-姿勢を整えるヨガ、R5-平城老人クラブ、R6-檳榔子俳句会、ハーモニカ教室はまゆう			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	できるだけリアルな状況下で訓練を実施する必要がある、参加者には、発見・通知・通報・誘導・初期消火の役割を分担して行いました。自分の役割を繰り返し聞かれたり、内容が伝わりにくいです。				
9	改善案	職員不在という想定で、参加者に役割分担して実施しました。役割や流れを説明して利用者が行動するには、一度リハーサルが必要ではないかと思いました。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長（館主）の意見

内容や役割分担等について参加者への十分な説明が必要です。公民館利用者に対する防火・避難意識を高めるため、継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	みんなの料理教室「おやこ食育」				
2	開始年度	令和5年度				
3	対象	年長～小学6年生とその保護者（食育）／小学生以上				
4	開催時期	8月4日（日）10:00～13:00				
5	事業の目的（意図）	親子で手作りの楽しさを体験し、食育の大切さを学びます。異年齢との交流や体験活動を通して、子どもの健全育成を図ります。愛南町の食材を使い、料理の楽しさとバランスの良い献立を学び、体験活動を通じて交流を図ります。				
6	事業内容（手段）	愛媛県食改レシピや資料を使い、親子で調理して試食します。講話を聞き食の学びを広げます。12組以上の親子対象で、会場は御荘文化センターで実施しました。主食、主菜、副菜、おやつ（4品）				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	千円	千円	11千円	11千円
		募集定員	－人	－人	12組（24人）	12組（24人）
		応募人数	－人	－人	12組（26人）	14組（30人）
		参加人数（延べ）	－人	－人	26人	30人
	特記事項		おやこ食育は、愛南町食生活改善推進協議会との合同事業。カレー作りは、講師の関根麻里さんと日程が調整できず中止しました。			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	愛南町食生活改善推進協議会の事業でもある「おやこの食育」は、12組以上の親子を集めるのに苦勞します。講師を依頼した関根麻里さんは、業務やアルバイトが忙しく、日程調整が難しいです。				
9	改善案	12組の人集めは、食生活推進協議会や保護者が働きかけしてもらっています。公民館の行事予定が比較的少ない5月・7月・8月・9月あたりで次から早めに調整します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長（館主）の意見

次年度に向けての方針のとおり、継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	お菓子づくり体験				
2	開始年度	令和2年度				
3	対象	小学生以上				
4	開催時期	令和6年6月23日(日) 10:00~12:00				
5	事業の目的(意図)	親子で手作り料理の楽しさを体験し、愛南町産の食材について学ぶことで、学年を超えた交流や体験活動を通して子どもの健全育成を図る。				
6	事業内容(手段)	愛媛県の愛南生活研究協議会との合同事業で、愛南町の特産品である愛南ゴールドを使ったパフェを作る。食材等は愛南生活研究協議会から支給する。講師 小野山かをりさん、谷口伸美さん				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	22千円	16千円	13千円	16千円
		募集定員	10人	18人	24人	15人
		応募人数	15人	22人	多数	多数
		参加人数(延べ)	15人	17人	27人	15人
	特記事項		平成31年度まで小学生以上の親子を対象に、郷土料理を作りましたが、令和2年度からお菓子づくりに変更し、1人でも誰でも参加対象にしました。R2年度-2回、R3年度から年1回実施。			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	毎年人気の高い事業であるため、数日の申込で定員オーバーになります。同日2回の実施(午前と午後)を相談しましたが、受けしてもらえません。				
9	改善案	参加できなかった方のために、次年度も愛南ゴールドパフェを実施します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

親子や友達同士での参加が多く、人気の高い事業のため、継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	平城公民館成果発表交流会				
2	開始年度	平成30年度				
3	対象	平城公民館利用団体・地域住民				
4	開催時期	令和7年2月16日(日)9:00~17:00				
5	事業の目的(意図)	平城公民館を日頃から利用している団体の一年間の成果を発表する場を設けることで、利用者間の親睦と交流を行い、より一層の公民館活動の促進を図ることを目的としています。				
6	事業内容(手段)	平城公民館利用団体のうち、演奏等の発表や習字・油絵等の作品を展示します。各団体相互の交流と地域との交流を深めるため、お楽しみ抽選会を行います。また、利用団体の活動周知のためケーブルテレビで放送します。				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	4千円	9千円	31千円	52千円
		募集定員	21団体	14団体	14団体	14団体
		応募人数	8団体	9団体	8団体	11団体
		参加人数(延べ)	中止	71人	96人	126人
	特記事項		令和2・4年度は感染予防のため、発表や展示作品を収録してケーブルテレビ放送しました。令和1・3年度は、感染予防のため事業を中止しました。令和5年度から公民館を一日開放しています。			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	参加者が多く、下足場所の確保・御荘文化センターへの駐車誘導などが必要です。今年度は展示と発表のグループが増えたので、交流室の客席(80席)は足りるか不安です。				
9	改善案	公民館利用者と地域住民が楽しく交流できるようお楽しみ抽選会をします。賞品には、トールペイントや老人クラブの手芸品などを混ぜ、作る人もらう人の喜びを分かち合える工夫をします。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

公民館利用者が日頃から練習している成果を発表する場として、改善案のとおり、継続して実施します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	御荘中スパルタスロンお接待				
2	開始年度	令和2年度				
3	対象	御荘中学生・御荘中学校教師等				
4	開催時期	12月2日(月)				
5	事業の目的(意図)	公民館が掲げる活動目標の柱のひとつである「地域・学校との協働」の推進を図るため、平城公民館、日赤奉仕団、福浦公民館及び福浦地区住民有志が合同で、御荘中学校が学校行事として実施するスパルタスロンに協力する。				
6	事業内容(手段)	お接待所(場所:DEあい21屋外)で、生徒や教員等に蒸しパン等を振る舞う。御荘日赤奉仕団とPTAは、8時30分～12時まで蒸しパンを作りと袋詰めをして、お接待所で配布しました。				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	一 千円	一 千円	9千円	22千円
		募集定員	人	中止	人	人
		応募人数	人	中止	人	人
		参加人数(延べ)	174人	中止	181人	178人
		特記事項	R2年度-参加者総数197人(西海・福浦・平城の合同) R3年度-参加者総数198人(中浦・平城の合同) R4-お接待は中止(中玉コース) R5-福浦コース。R5年度から御荘日赤奉仕団との合同事業。			

■次年度に向けて(方針)

8	課題	社会福祉協議会の活動と重なるため令和5年度から地域の協力は得られません。休憩所となる公民館との連携が必要です。蒸しパンを作って配達する時間と、学校が決めるコースの調整等に連携が必要です。				
9	改善案	コースや時間、PTAの協力など御荘中学校と連携し、休憩所となる公民館に相談してお接待するか決めます。令和5年度から御荘日赤奉仕団との合同事業なので、連絡調整が必要です。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
		○				

※館長(館主)の意見

次年度に向けての方針のとおり、継続して実施します。公民館が掲げる活動目標のひとつである「地域・学校との協働」の推進を図るため、令和2年度から実施しています。この事業を契機に学校と公民館の連携が深まり、中学生の公民館事業への参加など、新たな交流が生まれることを期待しています。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

1	事業名	御荘ミニ四国遍路マップ制作事業				
2	開始年度	令和6年度				
3	対象	南宇和高校総合探究の遍路班（6名）				
4	納期時期	令和7年1月下旬				
5	事業の目的（意図）	健康ウォーク「ミニ四国巡り」で活用するため、情報を最新にした地図を高校生のアイデアを取り入れて、遍路マップを(1000枚)作る。				
6	事業内容（手段）	担当教員と連携して、授業訪問指導やフィールドワーク支援を行います。生徒は、12月までに原稿を完成させます。公民館は、印刷会社(盛文堂)に高校生の意向を伝えるなど校正から完成まで協力します。納期は1月の発表まで。				
7	指標	実施年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
		事業費	千円	千円	千円	99千円
		募集定員	－人	－人	－人	
		活動人数	－人	－人	－人	6人
		印刷部数				1,000枚
	特記事項	令和7年1月22日納期。1月31日の発表にて100部配布。 令和7年2月13日の選抜発表会にて240部配布（御荘文化センター）				

■次年度に向けて(方針)

8	課題	南高の総合探究授業はフィールドワークが少ないため、掲載するお寺の住職や松軒山公園職員等へ写真を含む記載内容等の承諾や確認を公民館職員が行ないました。原案からかなり修正しました。				
9	改善案	現地取材による修正と印刷業者や公民館から見た目を良くする提案が多くなりましたが、その都度生徒の意見を聞いて完成させ、生徒は満足していました。目的達成のため次年度は事業を中止します。				
10	方向性	維持・改善	拡充	縮小	休止	中止
						○

※館長（館主）の意見

目的を達成したため次年度は中止します。

※審議委員会終了後の館長の意見

審議会前の意見に同じ

■運営審議会委員意見

NO.1	こども茶道教室	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)
・和の心を学ぶ事は良いと思います。 ・文化祭のあり方について改善の余地があるのではないかと。保護者を招待してのお茶会は復活しても良いと思う。 ・中学生もお世話になっています。町文化祭で、本人が嬉しそうに活動している様子が見られ、大いに活動意義を感じました。		
NO.2	こども生花教室(次年度縮小に対して)	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)
・四季や自然に触れ合うことで学ぶ事もあると思うので、良いと思います。 ・花材の価格が高くなったため、月2回から1回に縮小することは、やむを得ないと思います。 ・できれば子供向けの教室へは予算をつけてあげたいと思います。 ・中学生もお世話になっています。活動の成果を学校でも披露してくれました。		
NO.3	英会話教室	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)
・委託契約した講師が毎年契約更新できるようになったのは、良いことだと思います。PRに努めて参加者を拡大して欲しいです。		
NO.4	ハーモニカ教室	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)
NO.5	健康づくり教室「ヨガ」「体操」「お灸」「ピラティス」	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)
・参加者の多い事業のようなので、継続で良いと思います。 ・参加延べ人数が600人と多く、よい事業だと思います。		
NO.6	スマホ講座	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)
・とても良い講座だと思います。SNS講習会も良いと思います。		
NO.7	花いっぱい運動(次年度縮小に対して)	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)
・各地区に任せてはどうだろうか。 ・県道等花壇の管理は、人手と時間がかかり大変です。縮小はやむを得ないと思います。 ・できる範囲で、園芸部も関わらせていただけるとありがたいと思います。		
NO.8	ハンドメイド教室「絵手紙教室・絵手紙体験」「ハーバリウム」	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)
NO.9	人権・同和教育学習会	妥当(7名) 再検討(1名) わからない(0名)
・いろいろな機会を捉えて、人権・同和教育の啓発に努めてほしいと思います。		
NO.10	アーチェリー体験	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)
NO.11	平城貝塚再発見講座	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)

NO.12	とろりや講習会	妥当(7名) 再検討(0名) わからない(1名)
・次年度の秋祭りに、子供神輿を出すかどうかについては、五常会役員会で検討中ですので、事業としては維持しておいていただくと助かります。		
NO.13	地域づくり出前講座	妥当(7名) 再検討(1名) わからない(0名)
NO.14	グラウンドゴルフ・ミニバレーボール大会	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)
・今年度行ったミニバレーボール大会は、1セット(21点)総当たりでしたが、参加者の方には好評でした。次回も同じで良いと思います。 ・グラウンドゴルフもミニバレーボールも盛んに楽しくできていました。実施時期は10月頃が良いのではと思います。 ・今後もボランティアとして、中学生も参加させていただきたいと思います。		
NO.15	健康ウォーク「ミニ四国巡り」	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)
・今年度、多数の参加者でとてもよかったと思います。ボランティアの学生さんもきてくれ、お接待を受け、とてもありがたかったです。ハーフコースの設定も良かったです。		
NO.16	消火避難訓練・心肺蘇生講習	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)
NO.17	みんなの料理教室「おやこ食育」「カレー」	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)
NO.18	お菓子づくり体験	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)
NO.19	平城公民館成果発表交流会	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)
NO.20	御荘中スパルタスロンお接待	妥当(8名) 再検討(0名) わからない(0名)
・生徒たちに大好評です。準備、運営が大変だと思いますが、PTAの協力体制を整えるので、今後もよろしくお願いします。		
NO.21	御荘ミニ四国遍路マップ制作事業(次年度中止に対して)	妥当(6名) 再検討(1名) わからない(1名)

公民館事業全般を通しての意見

・たくさんの事業を実施しており、充実した活動が行われています。また、課題があれば適切に改善されています。参加延べ人数が多くなるよう、今後も取り組んでいってほしいと思います。

・1年間大変ご苦労され、事業に取り組んでおられることに敬意を表します。ニーズの高い事業の改善や啓発の必要性のある事業についても考慮されているため、よい運営ができていると考えます。

・町民の生きがいにつながる活動を活発に運営されています。内容も個のニーズに応じて選ぶことができるようバランスよく配置されています。今後も、中学生の地域社会との交流を促進する上で連携を続けていただきたいと思います。